

web 版

社教ニュース

ときたまご



令和8年3月23日（第5号） 山形市教育委員会社会教育青少年課

地域課題を解決する世代間交流の取組み ～出羽紅花バンド～

現在、地域住民同士の交流や世代間の交流の機会の創出、第三の居場所づくりなどが地域の課題として言われており、各地域ではその解決に向けて様々な取組を行っています。

出羽町内会連合会では課題解決のための各世代の共通のアイテムとして「音楽」に着目しました。令和6年度に出羽小学校と連携を図りながら、地域に「紅花太鼓クラブ」を立ち上げました。小学4年生から70代までが参加しています。

令和7年9月には出羽小学校と第七中学校と連携を図りながら「出羽紅花バンド」を立ち上げました。コンクールに出場することではなく、「自分が楽しむこと・地域のみなさんに楽しんでもらうこと」を目的に、小学生や中学生、20代から70代のメンバー17人が月に4回コミュニティセンターに集まって音楽を奏でています。3月11日の練習では、吹奏楽の経験がある20代のメンバーが中心になってみんなで演奏を楽しんでいました。

来年度も新しい音楽の取組を考えているそうです。これからの展開に御注目ください。

令和7年度をふりかえって

今年度は「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」の他に、家庭教育支援や青少年ボランティア、コミュニティセンターの事業に関する情報もお伝えしてまいりました。

9月2日発行の第2号では「地域で活躍する若者たち」というテーマで、ボランティア活動に取り組む中学生や高校生、大学生等の特集をしました。若者の地域に対するあふれんばかりの熱い思いに触れ、今や若者の存在は地域づくりに不可欠の存在になっていることを感じています。

令和8年度も「子どもと学校、地域の未来を創る当事者」である皆様とともに、社会教育事業を一層進めてまいります。どうぞよろしく申し上げます。

裏面に令和7年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」の実施状況及び成果・課題を掲載しています。

令和7年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」の実施状況及び成果・課題

【学校運営協議会に関すること】

○学校運営協議会の開催数

51校で146回（各校で2～5回実施） ※7校が4回以上開催しています。

○熟議のテーマ

- ・「私たちの学校」と「私たちの地域」の未来を一緒に考えよう
- ・教職員として見つけた子どもたちの「よさ」と地域住民として分かる子どもたちの「よさ」
- ・「子どもたちのよさ」を可能にしている「地域のよさ」とは何か
- ・登下校（通学班から自立登校へ）
- ・働き方改革について
- ・これからの学校や家庭・地域での教育・学びで大切だと思うこと、チャレンジしたいこと など

【地域学校協働活動に関すること】

○地域学校協働活動推進員の配置校数

41校（令和7年度は蔵王第二小学校、第五中学校、第九中学校に配置）

○地域住民等の参画者数（令和7年4～12月まで）

3,228人

【社会教育青少年課の取組】

○「地域とともにある学校づくり研修会」の開催（教職員等10名）

○「学校を核とした地域づくり研修会」の開催（推進員等40名）

○出前講座の実施（7回）

○視察・取材の実施（27回）

○地協ニュース「ときたまご」の発行（5号）

○地域学校協働活動推進員情報交換会の実施（5/23、9/19、11/21）

【成果と課題】（学校・地域学校協働活動推進員年度末アンケート結果より）

○成果

- ・子どもたちの「地域への愛着」や「地域の担い手としての自覚」の意識向上
- ・授業づくり（授業や教育活動の充実）
- ・地域住民同士のネットワークの広がりや深まり

○課題

- ・保護者や地域住民への周知
- ・地域の人材発掘・人材確保（学運の委員や地協推進員、地域ボランティア等）
- ・地域づくりへの活用

社教ニュースときたまごのバックナンバー及び山形市における「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」については、こちらからご覧ください。

